



小安協ニュース

会報

No.30
2024.2

- * 年頭ご挨拶（関東小型船安全協会会長）
- * 特別寄稿（「海洋国家の骨格の形成」
海上保安庁国際戦略本部 栗井次男）
- * 海上安全指導員活動紹介
- * 海上安全指導員表彰者紹介
- * 令和5年海難発生状況（速報値）
- * 新入会員紹介
- * 事務局だより



■ 新年 ご 挨拶 （ 令 和 6 年 ）



関東小型船安全協会
会長 渡部 典正

明けましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり、会員の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

一昨年二月に始まったロシアのウクライナ侵攻がいまだ終息の気配が見えな

い中で、我が国を含め世界的な規模で政治・経済に大きな影を落とし続けて
おります。

加えて近年は、中東イスラエルでの大規模なテロ事案発生、東アジアでは
ミャンマー、南米ではベネズエラなどと世界各地に不穏な動きが広がっておりますが、我が国では、昨年
5月、新型コロナウィルスへの対応が感染症の5類扱いとなり、様々な制限措置が解除されたこと等から
徐々に平穏な日常が戻ってまいりました。

会員の皆様には、これまで同様、当協会の活動にご支援、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。
さて、近年、益々、多様化し、活発化する海洋レジャーあるいはアクティビティは、コロナ後の新しい
ライフスタイルに応じた変革が求められております。

こうした中、海洋基本法及びこれに基づく第四次海洋基本計画では、海洋に関する社会・学校教育の推
進、海洋レクリエーションの普及等のための措置がうたわれています。

これに加えて、昨年3月の国土交通省交通政策審議会海事分科会の第5次交通ビジョンでは、小型船
舶の海難事故防止に関する重点施策として、「プレジャーボートの操船経験の浅い操縦者に向けた取組」
及び「プレジャーボートの機関故障対策」が掲げられており、当協会の活躍が大いに期待されていると
ころです。

従いまして、今年も、皆様とともに、新しいライフスタイル下での海洋レジャー活動を行う小型船舶が
楽しく、安全で、安心な活動ができるような環境づくりに貢献していくという当協会の使命・役割を果た
していきたいと思っております。

具体的には、海上の環境特性を考慮し「これからを見据えた IT 新技術の導入による信頼性の高い活動
環境の創成」と「ウクライナ紛争等に見る真偽不明な情報の氾濫等を踏まえた信頼性の高い情報ネットワ
ークの構築」及び「事故発生時の迅速な対処システムの確立」を目指して、当協会が運営する「信頼でき
る安全情報、位置情報等の情報共有を目的とするマリンコンパス事業」及び「海難事故発生時等に最も効
果的な情報通信ツールの国際 VHF(付近航行中の小型船舶以外の一般船舶等が常時聴取している。)の普
及及び無線講習事業の推進に積極的に取り組んでいきたいと考えております。

各種事業の実施状況につきましては、昨年も海上安全指導員及び会員の皆様、関係機関・団体のご支援
ご協力のお陰をもちまして、所要の事業を実施することができました。

財政状況につきましても、引き続き厳しい状況ではありますが、皆様のご支援、ご協力を得ながら改善
に取り組んでまいります。

終わりに、今年も海上保安庁をはじめ関係機関・団体のご理解、ご支援、ご協力を得て、海上安全指導
員及び会員の皆様とともに小型船舶の安全・安心のために努めてまいりますので、何卒よろしくお願いい
たします。

海洋国家の骨格の形成

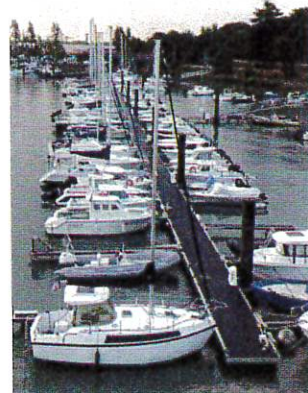
— フランスの海洋レクリエーション志向 —

海上保安庁国際戦略本部 栗井次雄

「海洋国家」を形作る要素として、EEZ の面積、海軍力、海上貿易・産業や漁業などの定量的なもの以外に、海洋への国民の関心や慣海性といった、心理や行動にかかわる部分が重要で、それが「伝統」の力であろうと思います。

かつて日本は、海洋交易に進出して東南アジアに日本人町が栄え、明治以後は世界有数の大海軍と商船隊を有し、優秀な船員と卓越した造船能力を誇り、遠洋漁業を独壇場とする時代が続きましたが、高度成長期以後の海洋レジャーや産業構造の変化により、海洋国家としての活動は背骨を折られたと言わざるを得ない有様になりました。

高度成長期以後、「海洋レクリエーション」が海洋国家の文脈で重視されるようになりましたが、この分野で日本が先進的であったことはなく、「海洋基本計画」が、この点を重視しているのも故あることと思います。



軍事的には陸軍国であったフランスは、南太平洋における海外領土を中心に世界第6位の EEZ を有し、海洋科学の水準も伝統的に高く、急速に変化する安全保障環境の中で海洋国家の地位を重視しつつあります。海洋レクリエーションにおいても、フランスは国民意識や行動様式が海を向いており、筆者の知人も、個人または共同でヨット等を所有し、週末や長期休暇を海で過ごす生活様式はごく普通のもので、資産家の優雅な趣味とは思われていません。日本のプレジャー人口が魚釣りを目的とするものが多いのに対し、航海や帆走技術という、海で船を操ること自体に楽しみを見出しているように思えます。

レザール・ドロンヌで4年毎に行われる世界一周ヨットレース Vendée Globe に、海洋冒険家の白石康次郎氏がアジアから始めて参加し、2021年に完走したことが注目を集めました。ビスケー湾に面した小さな街は熱狂市民で燃え上がり、そこで完走を達成した白石氏は、日本よりもフランスで著名なようで、国民の海洋意識とそれを支えるフランスの社会基盤は、日本とは比較になりません。

今年はフレネルレンズの発明から200周年ですが、明治期に日本が指導を仰いだ灯台建設技術もフランスの海洋国家の背骨のひとつです。

パリに本部を置く IALA（国際航路標識協会）の国際機関化も仏政府の主導で行われており、国民の海洋に対する関心や行動様式において、日本はフランスに遠く及ばないという気がします。



(Le Verdon sur la Mer:

フレネルレンズ200周年記念行事の会場にて)

指導員の活動紹介 1

各支部連絡調整会議



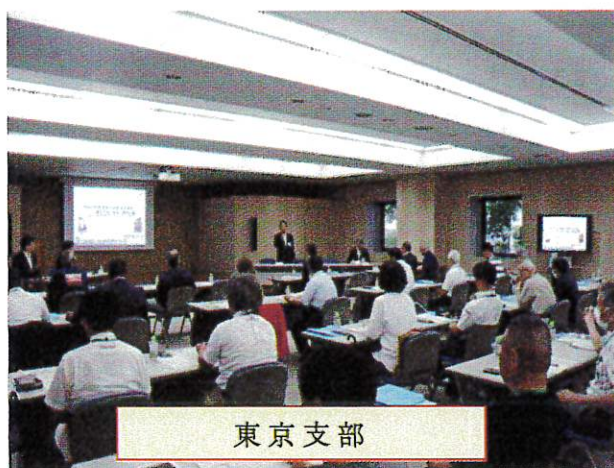
茨城支部



外房支部



千葉支部



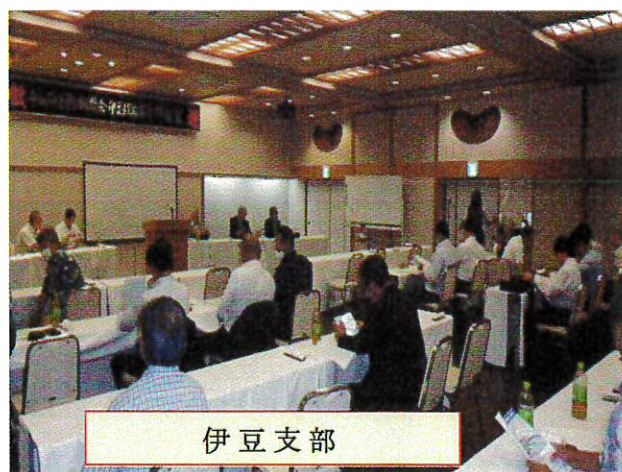
東京支部



横浜支部



横須賀支部



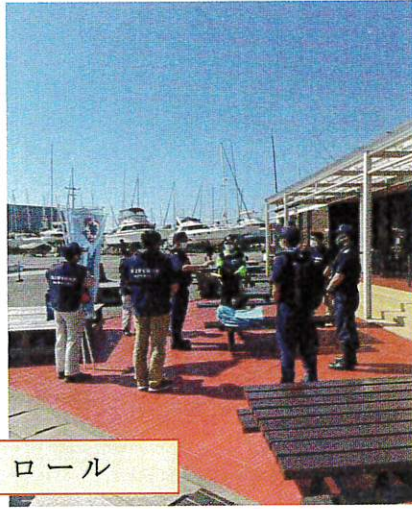
伊豆支部



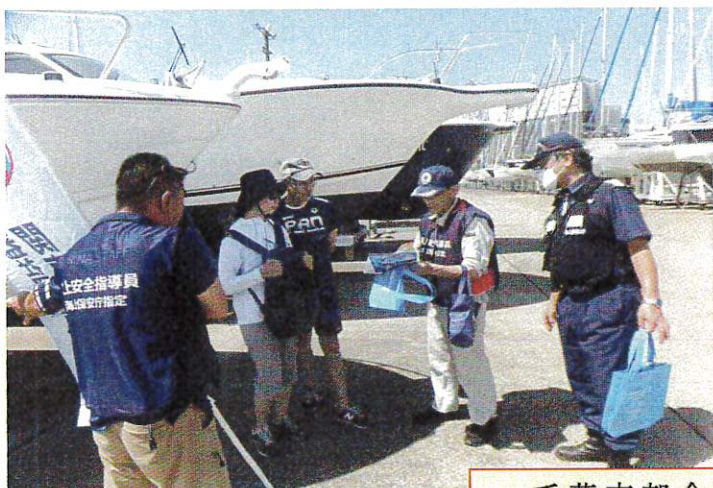
しみず支部

指導員の活動紹介 2

令和5年度の活動です。皆様からの写真の投稿をお待ちしています。



千葉支部合同パトロール



千葉支部合同パトロール



東京支部合同パトロール

指導員の活動紹介 3

令和5年度の活動です。皆様からの写真の投稿をお待ちしています。



横浜支部合同パトロール



横須賀支部合同パトロール 東京湾



横須賀支部合同パトロール 相模湾



しみず支部合同パトロール 清水港



しみず支部合同パトロール 浜名港

指導員の活動紹介 4

令和5年度の活動です。皆様からの写真の投稿をお待ちしています。



夢の島マリーナ安全講習会



浦安マリーナ安全講習会



館山地区安全指導員手帳交付



千葉港祭協力



葉山マリーナ安全講習会



清水港ヨット体験乗船協力

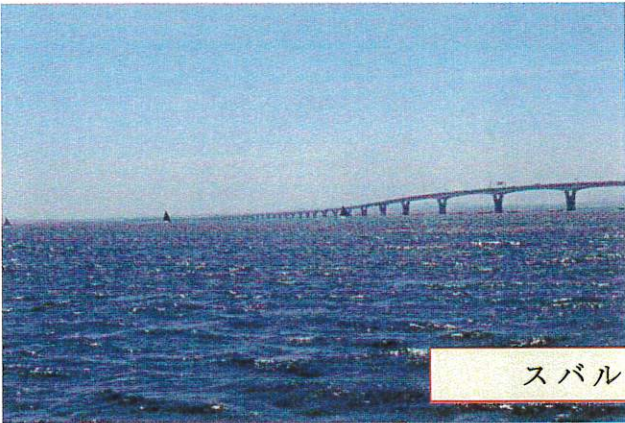
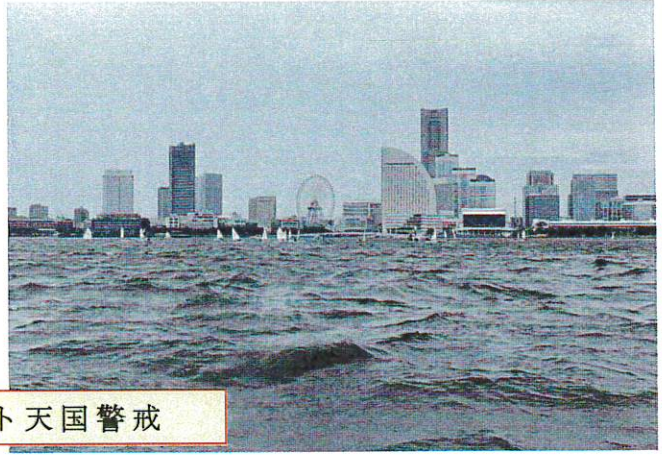


指導員の活動紹介 5

令和5年度の活動です。皆様からの写真の投稿をお待ちしています。



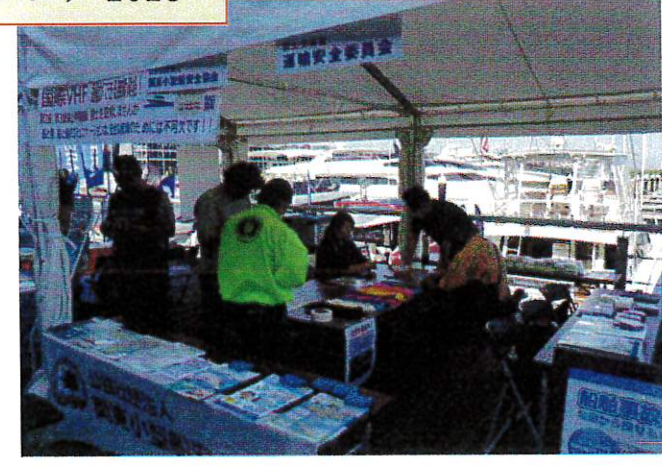
横浜港ポート天国警戒



スバルザカップ警戒



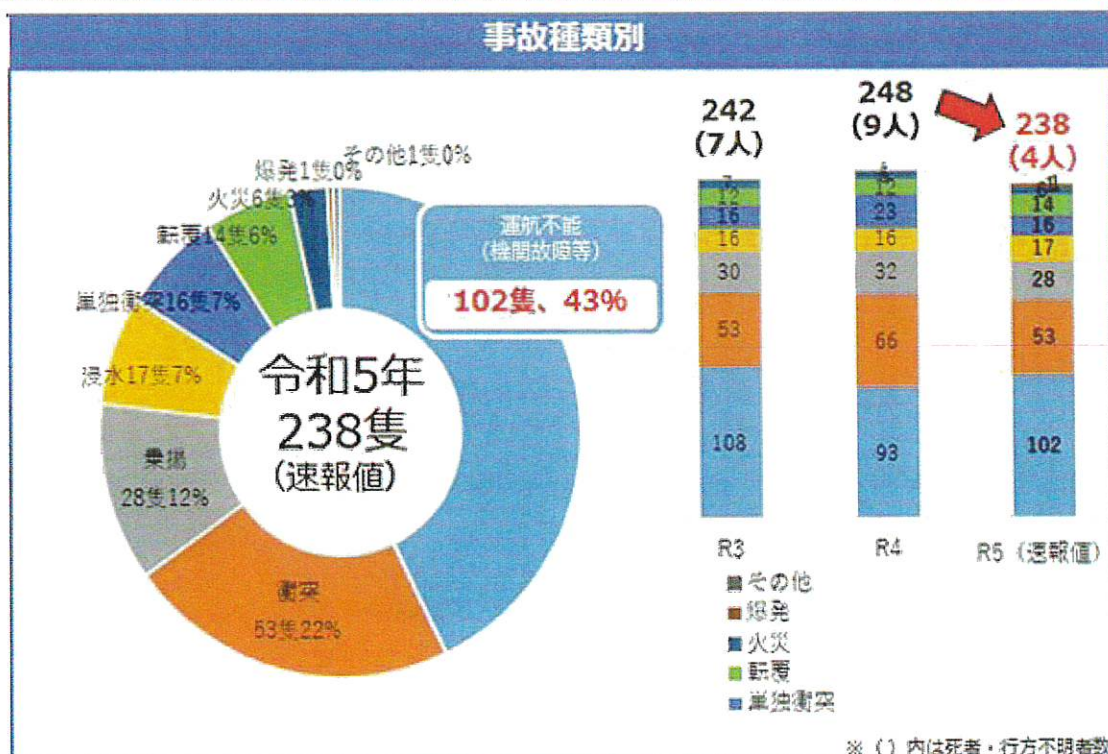
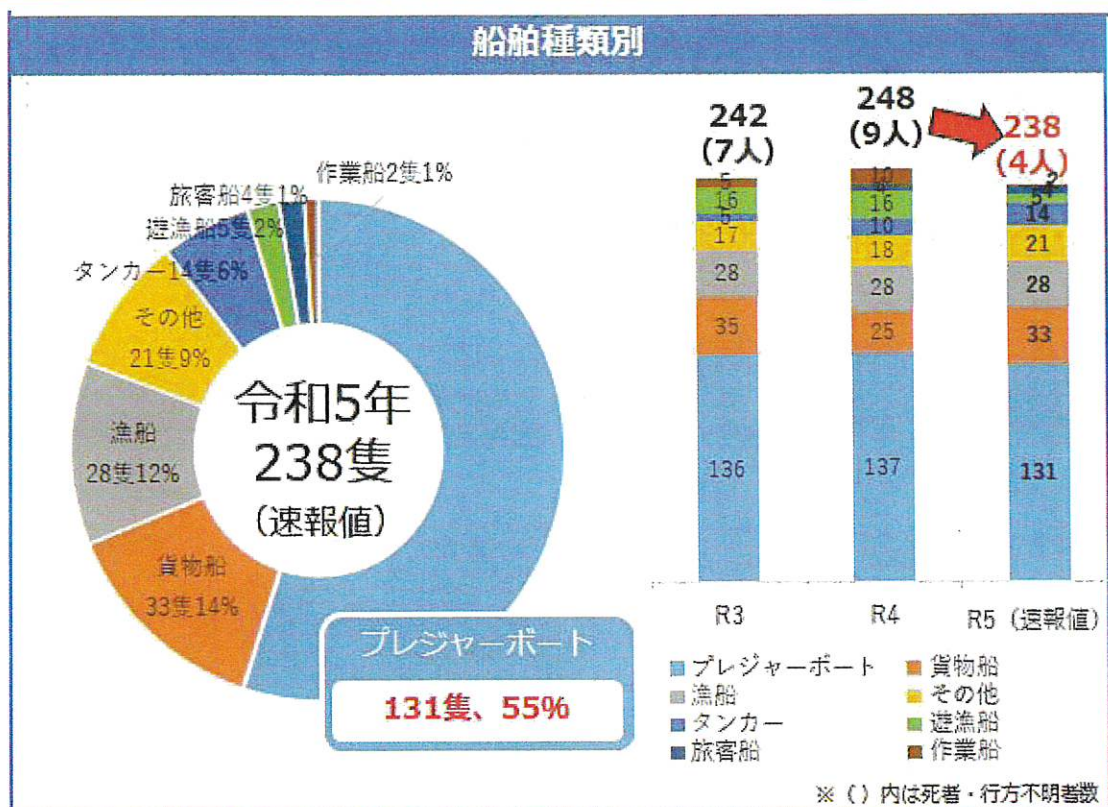
横浜ポートフェア 2023



令和5年における船舶事故発生状況（速報値）

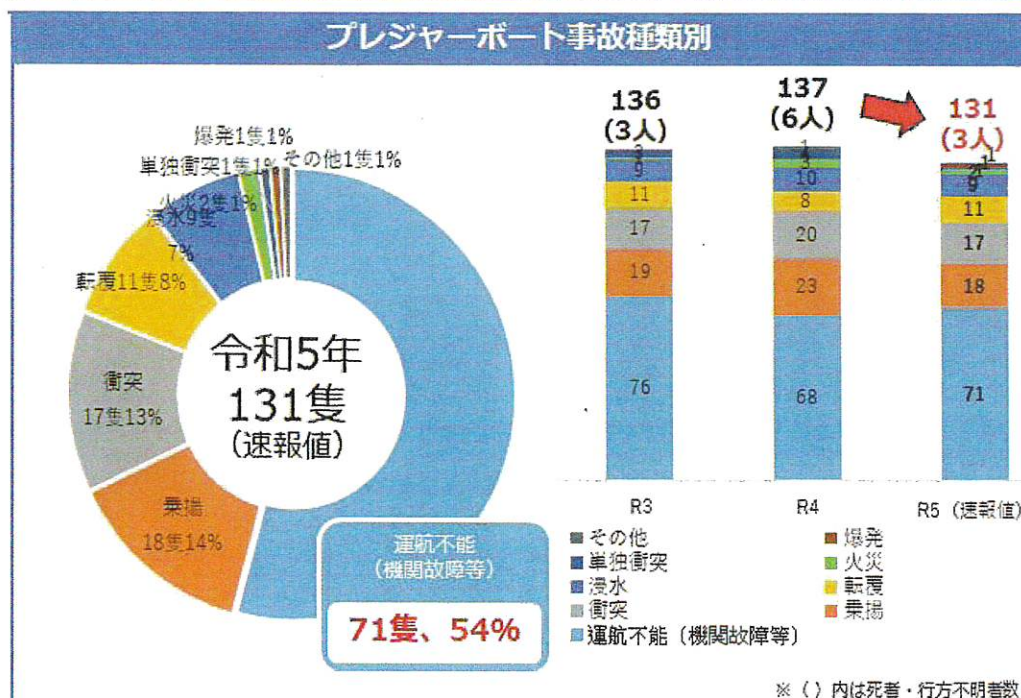
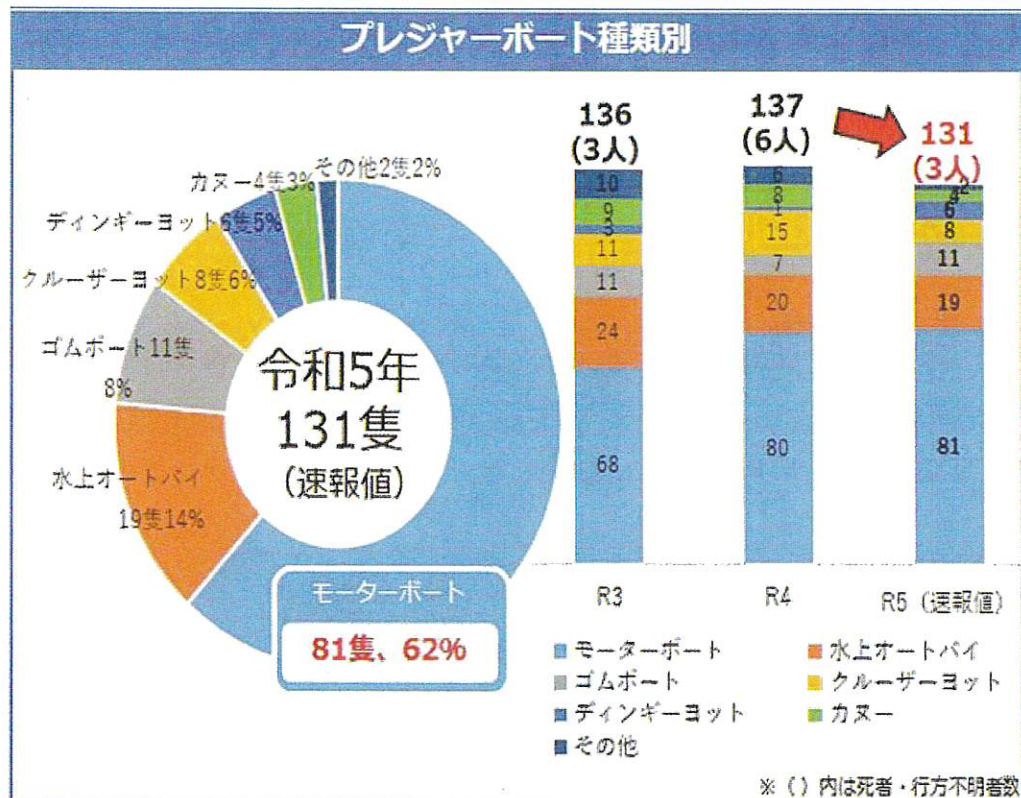
船舶事故発生状況

- ・ 船舶事故隻数：238 隻（昨年比 10 隻減少）、死者・行方不明者数：4 人（昨年比 5 人減少）
- ・ プレジャーボートの事故は、船舶事故全体の 55%となる 131 隻で最多（昨年比 6 隻減少）
- ・ 運航不能（機関故障等）の事故は、船舶事故全体の 43%となる 102 隻で最多（昨年比 9 隻増加）



プレジャーボートの事故発生状況

- ・プレジャーボートの事故隻数：131隻（昨年比5隻減少）、死者・行方不明者数：3人（昨年比3人減少）
- ・モーターボートの事故は、プレジャーボートの船舶事故全体の62%となる81隻で最多（昨年比1隻増加）
- ・運航不能（機関故障等）の事故は、プレジャーボートの船舶事故全体の54%となる71隻で最多（昨年比3隻増加）



おめでとうございます

■ 海上安全指導員の表彰

海洋レジャー事故の未然事故防止及び健全な発展を図るために、ボランティアとして長年に亘って海上保安業務に協力し多大な貢献をされた功労者として、次の通り海上安全指導員の方々が令和 5 年の海の日（7 月 17 日）に表彰されました。

◆ 内閣総理大臣表彰（国民安全の日 7 月 3 日表彰）

竹山 博 様（横須賀）

◆ 国土交通大臣表彰（順不同）

加藤 正明 様（東京） 木村 日出夫 様（横須賀） 織田 隆志 様（東京）

◆ 海上保安庁長官表彰（順不同）

鵜澤 精一 様（伊豆） 柿澤 安昭 様（しみず） 阿部 和博 様（横浜）
作田 節 様（千葉外房）

◆ 第三管区海上保安本部長表彰（順不同）

竹山 政宏 様（横須賀） 金子 登 様（横須賀） 鵜澤 靖之 様（伊豆）
野口 貴史 様（しみず）

◆ 海上保安部長表彰（順不同）

平居 貢 様（東京海上保安部長） 刈屋 剛 様（横須賀海上保安部長）
服部 一正 様（横須賀海上保安部長） 古橋 理 様（清水海上保安部長）
中見 隆男 様（清水海上保安部長） 小木曾 誠 様（清水海上保安部長）



■ **新入会員ご紹介** 令和5年4月以降次の方々が入会されましたのでご紹介いたします。(敬省略)

番号	氏 名	所 属 団 体	番号	氏 名	所 属 団 体
茨 城 支 部			外 房 支 部		
2826	生畑 目 伸一	個人	2855	鈴木 寿男	個人
千 葉 支 部			横 須 賀 支 部		
2827	(有)栄宝丸	個人	2831	齋藤 豊	関東小型船
2832	三ツ俣 昌大	館山外洋ヨットクラブ	2848	(株)スタートウェイ	個人
2833	齋藤 正敏	館山外洋ヨットクラブ	2850	草間 秀明	個人
2834	森 克彦	館山外洋ヨットクラブ	2851	菊池 俊一	逗子サーフライフセービング
2835	近藤 永利子	館山外洋ヨットクラブ	2852	中島 祐樹	逗子サーフライフセービング
2859	安田 繁文	個人	2853	戸田 誠	逗子サーフライフセービング
東 京 支 部			2858	島袋 誠人	個人
2838	青木 杏奈	(株)ミナモ	清 水 支 部		
2850	吉田 尚	東京パワーボートセンター	2841	神間 智博	三ヶ日青年の家
横 浜 支 部			2842	袴田 昌弘	三ヶ日青年の家
2828	吉田 勝正	関東小型船	2843	荻 哲也	三ヶ日青年の家
2829	渡辺 裕吾	関東小型船	2844	五十嵐 一真	三ヶ日青年の家
2830	(株)条丸	個人	2845	小山 慎太郎	三ヶ日青年の家
2836	関口 真一	個人	2846	堀内 咲希	三ヶ日青年の家
2837	山本 明雄	個人	2856	藤原 岳彦	御前崎マリクラブ
2839	(有)房総潜建	個人	2857	澤入 芳洋	御前崎マリクラブ
2840	(株)塚本商店	個人	2860	藤巻 潮	清水港ヨット協会
2847	木森 久人	横浜クルージングクラブ	2861	鷲山 真一	清水港ヨット協会
2854	加山 康孝	個人	2863	(株)LALL ヒューマン	夢の島マリーナ (東京支部)
2862	(株)寿翔船舶	個人	計 38名		
令和6年1月31日現在会員数 個人会員：652名、団体会員：49、賛助会員：36					

■ **事務局だより**

1 **寄附金のお願いについて！**

今年度も当協会の目的であります航行の安全、海難の防止及び海洋レジャーの育成に関して活発に活動を実施することができました。これもひとえに会員の皆様、海上安全指導員の皆様の活動の賜物と深く感謝を申し上げます。

今後も、公益社団法人として、小型船舶安全運行に関し先頭切って社会に貢献すべく活動を展開していく必要があると思っております。

つきましては、協会の円滑な運営と小型船舶の安全確保に使用することを目的としたご寄附をお願いいたしたく、皆様方のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご賛同頂ける方は、配布の振込用紙（又はホームページ掲載の振込用紙）でのお振込みか、下記の口座へのお振込みをよろしくお願いいたします。

ご寄附は、任意であり強制するものではありませんが、ご協力頂ける場合は、賛助会員及び団体会員は1口1万円、個人（法人）会員は1口5千円（任意の口数）でお願いいたします。

銀行名	横浜銀行関内支店	ゆうちょ銀行
口座名	公益社団法人関東小型船安全協会	
口座番号	(普通) 6073554	(普通) 10960-03161501 (098支店-0316150)

2 令和5年4月から令和6年1月末までにご寄付を頂いた方（順不同）

安藤 訓 様	渡部 典正 様	樋口 誠六 様	山田 安宏 様
望月 博文 様	高濱 旭 様	丹生谷 直樹 様	平野 清美 様
(株)富士ボートینگ 様	渡辺 清一郎 様	佐藤 新吾 様	富士山羽衣マリーナ(株)様
羽柴 公貴 様	ランドビルシステム(株) 様	成川 清子 様	ジェットスキーサービス SHM 様
田原 正彦 様	木下 登 様	鴨下 芳徳 様	和田 晃 様
鬼窪 豊 様	木下 敬士 様	御園生 浩 様	熊谷 儀七 様
坂本 正治 様	鎌倉 正行 様	倉地 浩二 様	多田 光範 様
松村 庸介 様	桜井 史人 様	吉田 紅司 様	納本 学 様
高木 和宏 様	古橋 理 様	(有)弁天屋 様	山田 義夫 様
八木 敏二 様	関東港湾サービス(株) 様	中山 進 様	伊藤 房太郎 様
狼 嘉晃 様	岸本 一郎 様	黒川 暁博 様	
計 43 名 623,000 円			

寄付金は、小型船の海難防止及び安全で秩序ある海洋レクリエーションの普及と発展のために活用させて頂きます。令和6年度も一層のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

3 令和6年度航海実技、無線講習計画について

令和6年度「航海実技講習（夜間）（昼夜間）」、「海上特殊無線技士養成講習」を次のとおり開催する計画にしておりますので、お知らせいたします。

■ 航海実技講習日程

夜 間（横浜港：ベイサイドマリーナ周辺海域）		昼夜間（東京港：夢の島マリーナ周辺海域）	
第1回	令和6年5月10日（金） 5名	第1回	令和6年4月20日（土） 5名
第2回	令和6年5月31日（金） 5名	第2回	令和6年9月26日（土） 5名
第3回	令和6年6月21日（金） 5名	第3回	令和6年10月19日（土） 5名
第4回	令和6年9月6日（金） 5名	第4回	令和6年11月9日（土） 5名

・講習費用 夜間：12,000 円、 昼夜間：20,000 円

■ 第二級/第三級海上特殊無線技士養成講習日程

講習日	講習場所	資格種類
令和6年4月13日（土）14日（日）	横浜市（関東小型船安全協会）	二海特（二日間）
令和6年5月18日（土）19日（日）	沼津市（静岡県フォークリフト講習センター）	二海特（二日間）
令和6年5月26日（日）	葉山町（葉山港管理事務所）	三海特
令和6年6月15日（土）16日（日）	横浜市（関東小型船安全協会）	二海特（二日間）
令和6年7月6日（土）7日（日）	横浜市（関東小型船安全協会）	二海特（二日間）
令和6年8月3日（土）4日（日）	横浜市（関東小型船安全協会）	二海特（二日間）
令和6年8月25日（日）	葉山町（葉山港管理事務所）	二海特（短縮）
令和6年9月8日（日）	沼津市（静岡県フォークリフト講習センター）	三海特
令和6年10月未定（土・日）	東京都（夢の島マリーナ）	二海特（二日間）
令和6年11月10日（日）	沼津市（静岡県フォークリフト講習センター）	二海特（短縮）
令和6年12月14日（土）15日（日）	横浜市（関東小型船安全協会）	二海特（二日間）
令和7年1月18日（土）19日（日）	横浜市（関東小型船安全協会）	二海特（二日間）
令和7年2月2日（日）	横浜市（横浜 ベイサイドマリーナ）	三海特
令和7年3月9日（日）	横浜市（横浜 ベイサイドマリーナ）	二海特（短縮）
・講習費用 三海特：18,000 円 二海特（短縮 三海特受有者のステップアップ）：26,000 円 二海特（二日間）：34,000 円		

■ 記事、写真投稿依頼

皆様の活動時における記事や写真を掲載していきたいと思っております。
皆様からの投稿（Mail）をお待ちしています！

■ 会員ページへのアクセス s(syou)a(ann)k(kyou)（小安協の略です。）

小安協ニュース第 30 号をお届けいたします。

小安協は皆さまご存じのとおり昭和 49 年（1974 年）7 月に発足した「全関東小型船交通安全協議会」（会長 森繁久弥氏）を前身とし、昭和 56 年 4 月に第三管区海上保安本部認可の「社団法人 関東小型船安全協会」となり、会員番号 0001 番の香川達夫氏が会長に就任いたしました。

平成 23 年 4 月に内閣府に公益事業を行う法人として認められ、「公益社団法人 関東小型船安全協会」となりまして、前身の全関東小型船交通安全協議会発足以来、本年令和 6 年（2024 年）をもって 50 周年となります。

この間、多くの会員の皆様のご支援により、当協会は継続して関東及び静岡県の沿岸における海洋レジャーの安全に寄与することができたものと思います。

今現在、651 名の個人会員、49 団体の団体会員、36 の賛助会員の皆様と協力し、310 名の海上安全指導員、133 艇の安全パトロール艇が安全指導活動を実施しており、本小安協ニュースでもご紹介したとおり、各マリーナ等での安全講習会、海上保安部との合同パトロールを実施するとともに、各種海上イベントへの協力により地域の皆様との連携を図っています。

本年は本協会の理事でもあり、横須賀支部の支部長を長きに亘って務めてこられた竹山博主任海上安全指導員が「内閣総理大臣」から国民安全の日に表彰され、また、多くの海上安全指導員の方々が「国土交通大臣」「海上保安庁長官」等から表彰されています。

一方で、昭和 60 年から活動していただいた清水マリーナの森田貴之指導員が 5 月に逝去（享年 66 歳）され多くの方が悲しみに暮れました。

関東小型船安全協会といたしましては、これからも海上における安全のための啓発活動を積極的に行っていきたいと考えておりますので、会員の皆様、海上安全指導員の皆様には益々のご活躍を期待し、協会はこれを出来うるかぎりバックアップしていきたいと思っています。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

編集	専務理事	齋藤 豊
	事務局長	吉田 勝正
	事務局次長	渡辺 裕吾
	事務局員	長尾 章代



公益社団法人 関東小型船安全協会

〒231-0005 横浜市中区本町 4-43 A-PLACE 馬車道 3 階

Tel : 045-201-7754 Fax : 045-201-7758

E-mail : ksak@wind.ocn.ne.jp URL : <https://shoankyo.or.jp>